

太陽光のみを使用する最新式充電ステーションを柱とした観光周遊モデルの実証試験が、姫島村で始まりました。

太陽光だけを使う充電ステーション「青空コンセント」と、貸し出される超小型電気自動車など＝1日午後、姫島村内の土産物店「ビ・ボーン」

観光実証試験スタート



太陽光のみを使用する最新式充電ステーションを柱とした観光周遊モデルの実証試験が1日、姫島村で始まった。電気自動車や電動アシスト自転車で島内を巡り、ステーションで充電する民営レンタル事業を展開。10月末まで採算性を調べる。島内の観光業者らはイメージアップや島内交通の充実化に期待を寄せている。実証試験は、中津市の技術・県の補助金を活用して、島内地域おこし協力隊「T・ラン」による自然エネルギー「青空コンセント」、自然エネルギー「姫島観光しょっぴー」による取り組み。

乗り物 “燃料” 太陽光だけ

アシスト自転車計4台は、近所の土産物店2店で貸し出す。レンタル料は自動車が1時間当たり2千円、自転車が同500円。観光期の7月から4カ月間の貸し出し状況をまとめ、事業性を見極める。

村出身の寺下満社長(40)は、姫島の強みは環境意識の高さ。今回の試験で良い結果を出し、100%自然エネルギーの乗り物で観光地を周遊する「姫島王モデル」として他県の離島地域などを売り込みたい」と話す。

(2013年7月2日朝刊1面)

エコな姫島周遊

① 「自然エネルギーだけで観光地を周遊する」とは、どういう取り組みでしょう。

② 試験により、どういったことが期待できますか。

③ 「エコな観光」を実現するために、どういったことを進めるべきだと思いますか。話し合ってみよう。